

令和4年9月12日

五戸町議会第26回定例会 一般質問通告一覧表

通告 順位	質問 方式	質 問 者	質 問 事 項	質 問 の 要 旨
1	一 問 一 答	和 田 智 也	1. 立地適正化計画策定に関わる進捗状況について	立地適正化計画の策定に際し、幅広い意見を反映する目的として、五戸町立地適正化計画策定協議会を発足したが、これまでの実施してきた協議内容について以下の2点を伺う。 (1) これまでの協議内容について (2) 今後のスケジュールについて
			2. 地域防災対策について	近年、日本各地で集中豪雨が頻繁に発生し、甚大な被害が出ている。青森県の各地でも大雨の被害が出ているが、当町で発生した場合の対応について改めて以下の3点を伺う。 (1) 町長の災害対応について (2) 災害対策本部について (3) 職員の配備態勢について

通告 順位	質問 方式	質 問 者	質 問 事 項	質 問 の 要 旨
2	一 問 一 答	豊 田 孝 夫	1. 農家における鳥獣 被害の実態調査・把 握とその対策につ いて	<p>実りの秋を迎え農家の方々が一番の喜びとする季節となったところだが、その喜びに影を落とす事態が発生していることも事実である。丹精こめて生産した農産物が鳥獣被害により販売できなくなるおそれや、場合によっては翌年の栽培に影響を及ぼすおそれもある。</p> <p>については、行政における鳥獣被害の実態調査・把握とその対策について伺う。</p> <p>(1) 現在、鳥獣被害の届けが出されている件数の把握、及び被害を与えた鳥獣の種類別での把握をしているか。</p> <p>(2) (1)における被害内容、被害面積、及び被害金額（推定）はどの程度か。</p> <p>(3) 今後想定される鳥獣被害はどのようなものか。</p> <p>(4) 鳥獣被害をなくする（減少させる）取組として国、県、町の行政ができる支援策はいかがか。</p>

通告 順位	質問 方式	質 問 者	質 問 事 項	質 問 の 要 旨
			<p>2. 役場職員による農家支援策（公務員の副業）について</p>	<p>農家の高齢化、担い手不足、人手不足が深刻化している現状を鑑み、人手不足の対策として公務員の副業を認めている自治体がある。</p> <p>については当町における当該取組の導入の可能性、また、行政における地域貢献、サービスの向上を目指す取組について次を伺う。</p> <p>(1) 現在、公務員の副業基準に農業等と明記し導入している自治体の数とその自治体名は。</p> <p>(2) 職員の職務専念義務との兼ね合いについてはどのように考えるか。</p> <p>(3) 実際に職員が農家で働いた場合、その報酬等についてはどのように想定するか。</p> <p>(4) 当町で職員の副業が可能かどうか。そのための関係規則等の整合性をどのようにするか。</p>

通告 順位	質問 方式	質 問 者	質 問 事 項	質 問 の 要 旨
3	一 問 一 答	柏 田 匡 智	中学校運動部活動の地域移行に関する五戸町の方角性について	<p>部活動の少子化による問題や教師の労働時間軽減を目的として、「運動部活動の地域移行に関する検討会議提言」が国において取りまとめられた。休日の部活動から段階的に地域移行していくことを基本とし、令和5年度から3年間は改革集中期間とされている。その後、平日の地域移行が推進されており、受皿の団体が求められている。</p> <p>そのため中学校部活動の現状や、小学校の部活動がスポーツ少年団・スポーツクラブに移行した先事例を通し、五戸町が目指す中学校部活動の地域移行の方角性について質問する。</p> <p>(1) 中学校部活動担当教師と外部コーチの現状、課題について</p> <p>(2) スポーツ少年団の現状と、受皿としての課題について</p> <p>(3) 五戸町スポーツクラブの現状と、受皿としての課題について</p> <p>(4) 五戸町として考える受皿、方角性について</p>

通告 順位	質問 方式	質 問 者	質 問 事 項	質 問 の 要 旨
4	一 問 一 答	鈴木隆也	1. 鳥獣被害対策について	<p>先般の新聞報道によると川内地区でイノシシによるナガイモの食害が初めて確認されたとのことである。また、倉石地区においてもイノシシによる食害や田畑が掘り起こされるなどの被害が急増していると聞いている。</p> <p>近年の温暖化により、これまで生息していなかったハクビシンやアライグマ、そしてイノシシまでもが現れ、農作物に甚大な被害を与える状況にある。</p> <p>農家は燃料や資材などの物価高、販売価格の低迷、高齢化や人手不足、そして本年のようにこれまで経験したことのない長雨に見舞われた上に鳥獣被害を受ければ、営農意欲が減衰することは想像に難くない。</p> <p>当町の主要産業の一つである農業を守るには、鳥獣被害対策が喫緊の課題であると考え、次を伺う。</p> <p>(1) 有害鳥獣の捕獲は猟友会の協力無しでは難しいと思われるが、会員の高齢化や減少が問題とのことである。猟友会会員を増やすための現状とこれからの取組は。</p> <p>(2) 有害鳥獣を捕獲するためには箱わなやくくりわなの設置が有効であると聞く。現在、町はどの程度のわなを所有し、どのように運用しているのか。</p> <p>また、わなを設置した場合、毎日の見回りが必要になり、多くの労力が必要になる。これを解決するにはインターネットを活用し、獲物がわなにかかったことを端末などで確認できる、IoTの導入が有効であると考えているが、現状とこれからの取組は。</p>

通告 順位	質問 方式	質 問 者	質 問 事 項	質 問 の 要 旨
				<p>(3) 鳥獣被害対策は猟友会とIoTなどの先進の技術を取り入れた駆除方法だけでは十分でなく、地元住民や農家の協力による「鳥獣被害に強い集落づくり」が効果的だと考える。餌場となり得る野菜くずの投棄を控えてもらう広報や電気柵を設置する場合などの助成も集落づくりの後押しになると思われる。現状とこれからの取組は。</p>
			<p>2. 町立小中学校の統合計画について</p>	<p>本年6月30日、五戸町立小中学校の適正配置を議論してきた町教育委員会の諮問機関である「第二次五戸町小中学校の教育振興に関する検討委員会」が答申書を澤田教育長に手渡したとのことである。</p> <p>このことについて次を伺う。</p> <p>(1) 答申書の詳細は。</p> <p>(2) 町立小中学校の統合計画策定の進捗状況とこれからの進め方は。</p> <p>(3) 切谷内小学校と上市川小学校の統合について、「通学バスを整備した上で五戸小学校との統合が望ましい」とか、「地域から小学校がなくなると地域の活力が更に低下してしまうので、川内地区に小学校を残すことが望ましい」などの意見があるようだ。これについてどのようにして合意形成を図るのか。</p>

通告 順位	質問 方式	質 問 者	質 問 事 項	質 問 の 要 旨
5	一 問 一 答	川 村 浩 昭	1. 倉石温泉について	(1) 五戸町は倉石温泉リニューアルオープンを目指して公募し、応募のあった3団体のうち東北医療福祉事業協同組合を選定したが、その後の進捗状況は。 (2) 従業員等について、地域、あるいは五戸町民を雇用してもらえるかの話合いがなされているか。 (3) 公募に申し込みながら選ばれなかった団体の中には駐車場や敷地を使って地産物、名物などの販売直売所のような店、市日のようなイベントなどを開き地域活性につなげる計画をしていたようだが、その点はどのように考えているか。
			2. 旧五戸高校の利用について	(1) 廃校となった旧五戸高校を町のために利用する考えはあるか。 (2) 野球場、サッカー場、校庭等、草が繁茂しており、このままでは荒野になってしまうと思うが、どのように考えているのか。
			3. コロナウイルス感染症について	オミクロン株に対するワクチン接種を考えているか。